

児屋野局長も現場目線で体験！ 安全と健康の大切さを再確認！

令和7年10月6日（月）に開催された神奈川転倒・腰痛災害防止大会の会場ロビーにおいて、関東労災病院およびミドリ安全株式会社、一般社団法人アシストスーツ協会の協力を受け、レセプションイベントとして参加無料の体験・展示ブースが設けられました。

体験ブースでは、関東労災病院治療就労両立支援センターの理学療法士と管理栄養士により、骨密度の測定結果を踏まえた生活習慣指導を、大会開催前の時間を活用して先着順で行いました。

展示ブースでは、転倒と腰痛災害を防止するために有効な保護具（作業靴や腰部ベルト、アシストスーツなど）を、ミドリ安全株式会社、一般社団法人アシストスーツ協会（株式会社イノフィス、ダイヤ工業株式会社、アルケリス株式会社）から出店いただき、展示して大会来場者に積極的なPRがなされました。

大会参加者が来場する前の時間を活用し、各ブースをプレ体験！

★骨密度測定体験ブース

関東労災病院治療就労両立支援センター



【骨密度測定を体験する児屋野局長】



【管理栄養士からアドバイスを受ける児屋野局長】

骨密度測定では、事前に問診票を記載し、裸足になった片足を測定機械に乗せ、数分間結果が出るのを待ちます。骨量測定にて、判定された骨梁面積率（足のかかとの断面において、骨の内部にある骨質部分が占める割合）等の結果をプリントしてもらい、同年代の平均と比べ、自身の状況を知ることができ、また、その結果を踏まえた健康管理における注意点などの説明を受けることができました。

★保護具等展示ブース

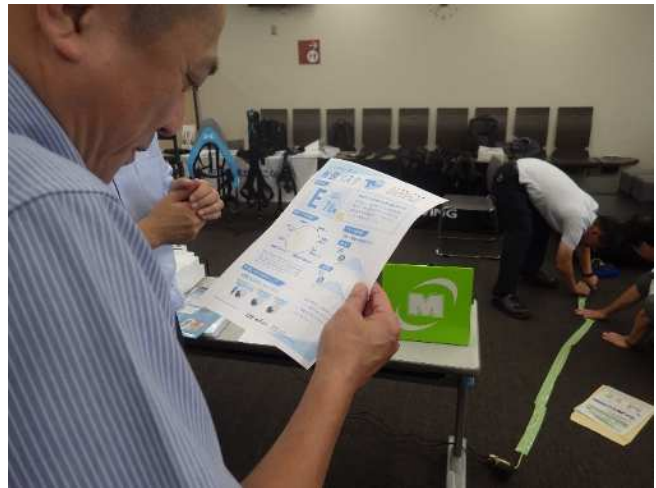
ミドリ安全株式会社

一般社団法人アシストスーツ協会（株式会社イノフィス、ダイヤ工業株式会社、アルケリス株式会社）



【アシストスーツの効果を体験する児屋野局長】

「アシストスーツは背筋が伸びる感じで重量物を持つだけでなく、作業時の姿勢も良くなるような気になりました。その他、立位作業（レジ打ちなど）時の姿勢確保（腰を落とす感じで座位を確保できるものや脛に当てて足の緊張を和らげるもの）補助具を体験してみましたが、実際に使ってみると非常に身体が楽であることを実感しました!!」



【立位機能計測機械で転倒リスクを測定しその結果に一喜一憂する児屋野局長】



児屋野局長のまとめの一言

「転倒リスクを“見える化”する体験は衝撃的でした。数字は厳しい現実を教えてくださいますが、改善の余地があることも示してくれます。安全は知識だけでなく、こうした体験から行動へ、そして習慣へ。今日の気づきを、明日の一步につなげたいと思います。」